

## 1. 実況上の着目点

- ① 高気圧が日本のはるか東から日本の南に張り出している。その縁辺の下層暖湿気が流れ込む東シナ海は気圧の谷で、シアーラインを形成。大気の状態が不安定で、雷を伴って激しい雨や非常に激しい雨を解析。
- ② 500hPa 5400m付近のトラフに対応する低気圧が、前線を伴って沿海州付近を北東進。①の高気圧から低気圧や前線に向かう南よりのやや強い風や強い風で暖湿気が流入し、全国的に昇温。九州付近や四国の南で活発に発達し、激しい雨を解析。



主要じょう乱解説図

- ③ 衛星可視画像では朝鮮半島や黄海付近を飛来する黄砂が明瞭で、朝鮮半島では視程2km未満を観測。

## 2. 主要じょう乱の予想根拠と防災事項を含む解説上の留意点

- ① 1項②の低気圧は、23日にかけて発達しながら沿海州沿岸付近を北東へ進み、前線が北～西日本を通過する。低気圧や前線の影響で強い風や非常に強い風が吹き、波が高くなり大しけとなる所がある。北海道地方では23日にかけて暴風や高波に警戒し、北～東日本では高波に注意・警戒。西日本では23日にかけて、北～東日本では24日にかけて、強風や風雪、高波に注意。また、1項①の高気圧から低気圧や前線に向かう下層暖湿気の影響で、850hPaの気温は、北日本では平年差+15℃前後、西～東日本では平年差+10℃前後の状態が続く。このため、大気の状態が非常に不安定となり激しい雨の降る所や、多雪地では降水も加わり雪解けが急速に進む所がある。北～西日本では、23日にかけて落雷や突風、急な強い雨、局地的には竜巻などの激しい突風に注意し、24日にかけてなだれや融雪に注意。さらに前線通過後は、北日本を中心に寒気が流れ込み大雪となる所がある。北海道地方では、23～24日は大雪や着雪に注意。
- ② 1項①のシアーラインは、23日にかけて東シナ海にほとんど停滞し、引き続き大気の状態が不安定。南西諸島では23日にかけて、落雷や突風に注意。
- ③ 2項①の前線通過後は、1項③の黄砂が23日にかけて西日本の広い範囲に飛来し、視程5km未満となる所がある見込み。
- ④ 24日朝までに、前線が華中～日本の南～日本の東にのびて、前線上の低気圧が華中から東シナ海を東よりに進み、次第に風が強まる。西日本では24日は、強風に注意し、落雷や降水の強まりに留意。

## 3. 数値予報資料解釈上の留意点

総観場はGSMを基本、量予想や降水分布はMSMやLFMも参考。

## 4. 防災関連事項【量的予報等】

- ① 雨量(18時からの24時間)：多い所(100mm以上)はない。
- ② 降雪量(18時からの24時間)：多い所(注意報級以上)はない。
- ③ 波浪(明日まで)：北海道6、東北5、北陸4、中国・近畿3m。

## 5. 全般気象情報発表の有無

「雷と突風に関する全般気象情報」を17時頃発表予定。